

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和3年度 第2回入間市障害者福祉審議会
開 催 日 時	令和3年11月18日(木) 午後3時00分 開会 / 午後4時30分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 5階 全員協議会室
議 長 氏 名	今井 英雄
出席委員(者)氏名	今井 英雄 福井 恵子 黒古 次男 田邊 仁 磯田 英穂 内藤 英子 森田 秀子 金平 里美 野村 優美 石川 具児 粕谷 浩史 橋本 敏子 末松 敦子 野澤 純子
欠席委員(者)氏名	平井 友彦
説明者の職氏名	副主幹 平岡 義和
会 議 次 第 (公開)	1 開会 2 審議会委員委嘱式(一部委員) 3 会長あいさつ 4 議題 (1) 報告事項 ・入間市障害者福祉プランの令和2年度取組状況について ・令和2年度障害者就労施設等からの調達実績について (2) その他 5 閉会
非 公 開 理 由	公開
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	1 令和3年度 第2回障害者福祉審議会次第 2 入間市障害者福祉プラン令和2年度取組状況報告書 資料1 3 入間市障がい者福祉プラン令和3年度取組予定報告書 資料2 4 令和2年度障害者就労施設等からの調達実績 資料3 5 長野県社会福祉協議会についての新聞記事 資料4
事務局職員職氏名	福祉部長 田代 高久 福祉部次長 徳山 寿行 障害者支援課長 鹿山 泰隆 主幹 小笠原 昌平 主幹 天満 葉月 副主幹 平岡 義和 主任 渡辺 和弥
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過)

○ 議題

(1)報告事項

- ・入間市障害者福祉プランの令和2年度取組状況について事務局より説明。
- ・令和2年度障害者就労施設等からの調達実績について事務局より説明。

(2)その他

長野県社会福祉協議会についての新聞記事について
会長より説明。事務局から入間市社会福祉協議会等へ提言の依頼。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
今井会長	<p>(委員より発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>次第に沿って進めさせていただきます。入間市障害者福祉プラン令和2年度取組状況についての説明を事務局よりお願いします。</p>
平岡副主幹	<p>(入間市障害者福祉プラン令和2年度取組状況報告書資料1、入間市障がい者福祉プラン令和3年度取組予定報告書資料2により説明)</p>
今井会長 内藤委員	<p>ただ今の説明につきまして質問や意見がありましたらお願いします。</p> <p>りぼんのことについて、施策4で相談りぼんとあり、施策6では就労支援センターりぼんとありますが、これは同じものという理解でよいでしょうか。</p>
平岡副主幹 内藤委員	<p>相談りぼんと就労支援センターりぼんは別のものになります。</p> <p>それぞれ何人で運営していますか。</p>
平岡副主幹 黒古委員	<p>相談りぼんが2名、就労支援センターりぼんが4名となります。</p> <p>相談りぼんは地域生活の相談を受けることが主となり、就労支援センターりぼんは就労についての相談が主となります。生活する中で、働くことはとても大事な部分となります。そのため、市では地域生活の相談と就労の相談を同じ場所で一体的に受けることができるという、県内では稀な特徴を持っています。りぼんの立ち上げ時に携わりましたので、補足で説明いたしました。</p>
今井会長 黒古委員	<p>黒古委員お願いします。</p> <p>資料1の1ページにある実績数字の中で、地域生活移行者数が2名となっていますが、割合で見ると目標値である27名に対しては7%、令和3年3月末時点の入所者数である126名に対しては2%という数字となります。国としても地域への移行が大きな課題であり、目標を掲げて取り組まれているかと思いますが、この実績数値を見る限り、目標達成がとても難しいのが現状です。この現状についてどのような原因があるか事務局の考えをお聞かせいただきたいです。また、現場の意見からも、粕谷委員に実際どんな課題があるのかを併せてお聞かせいただきたいです。</p>
今井会長 小笠原主幹	<p>事務局から回答をお願いします。</p> <p>目標が達成できない原因としては複数あると考えられますが、一つ挙げるとしますと、地域へ移行するための施設がまだまだ不足していることだと考えられます。現在市内には、グループホームが複数ありますが、その</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>多くは入所者が日中に作業所等で働き、夜間の生活を支援員がサポートして生活を営むといった施設形態となります。地域移行に重要となるのは、日中サービス型のグループホームとなります。日中サービス型とは、日中の生活をサポートする支援員がいて、生活に必要な支援を行う施設形態となりますが、市内においては1施設しかありません。地域への移行となりますと生活を営む中で、施設で受けていた様々な支援の部分を全て1人で行わなければならない、障害のある方にとっては容易なことではありません。このような現状で、地域への移行を進めるには日中サービス型のグループホームが重要となってきます。国でも日中サービス型のグループホームの設立を推奨しているところですが、市内では数が少ないという状況が、地域生活移行者数が増えない原因の一つであると考えられます。また、それ以外にも入所している方が地域で生活をしていくというのは、様々な課題があると認識しています。障害のある方に対しての認識が、地域で生活することや自立して生活することを促す状況になっていないことが、目標の達成に至らない原因であると感じています。</p>
今井会長	<p>次に粕谷委員お願いします。</p>
粕谷委員	<p>事務局の意見と同じように日中サービス型のグループホームの数が少ないということと、施設に入所している方が地域へ出て生活をする難しさというのがまだあるのかなと感じます。</p>
今井会長	<p>他に質問はありますか。黒古委員お願いします。</p>
黒古委員	<p>施策3の障害者の意見を反映するための体制の中で防災会議を活用しましたとあります。障害のある方がいざという時に安心して避難行動や避難生活ができることはとても大事であります。防災会議の構成メンバーの中に障害者または障害に関係がある方がどの程度参集されているかどうか教えていただけますでしょうか。</p>
平岡副主幹	<p>防災会議の構成メンバーについては主管の危機管理課より情報提供を受けておらず詳細な資料が無いためこの場で回答することができません。次回の審議会までに調べて回答ということでよいでしょうか。</p>
今井会長	<p>黒古委員よいでしょうか。</p>
黒古委員	<p>次回までに回答をお願いします。</p>
今井会長	<p>他に質問はありますか。田邊委員お願いします。</p>
田邊委員	<p>2点あります。まず1点目ですが、施策6はたらくを応援するの中で、市役所では3人を雇用されたということで、就業の雇用率が達成されてお</p>

発 言 者	発 言 内 容
小笠原主幹	<p>り、評価できると思います。資料1の1ページにある就労移行支援事業の利用者数で38人とありますが、この中で就労移行支援のサービスを受けたことにより就労へと繋がったケースがどのくらいあるのか教えてください。2点目は、同じ資料で福祉施設から一般就労へ移行者数が14人とありますが、この14人が就労移行支援を受けていたのか教えてください。</p> <p>就労移行支援事業の利用者数38人は、令和2年度末の利用実績となるため、同資料の一般就労移行者数の中には入っておりません。資料がないため詳細な回答ではありませんが、令和2年度の一般就労移行者数の14人のほとんどの方が就労移行支援または就労継続支援のA型またはB型といった障害福祉サービスを利用していたと把握しております。</p>
田邊委員	<p>今の回答から、就労移行支援事業が成果を上げているというように感じられます。細かい内容についても資料に記載していただくと、委員の方がわかりやすいと感じますので、ぜひ今後報告書等を作る時に記載していただけると助かります。</p> <p>施策6いざという時のための支援体制をつくるの中の個別計画策定について自主防災会に依頼しましたという部分で、依頼した後の報告について集約ができていますでしょうか。また、同施策の総括の中で、個別避難支援計画の作成が進まないことが課題と記載されていますが、自主防災会との対応等も踏まえて今後の取組についての事務局の考えを教えてください。</p>
平岡副主幹	<p>自主防災会への個別計画策定の依頼は、随時危機管理課で行っています。依頼した自主防災会の中で、受諾していただいている自主防災会が複数あります。自主防災会の数は事務局で把握していませんが、個別計画に移行し個別避難支援計画書の作成ができた人数が17名と報告を受けています。自主防災会に依頼しているものの、その先に進まないケースが多いため、危機管理課では、今までの実施手順とは異なる方法を検討しているとのことです。</p>
今井会長 石川委員	<p>他に質問はございませんか。石川委員いかがですか。</p> <p>資料1の1ページの令和2年度一般就労移行者数の実績が14人となっており、目標数値も14人ということで目標は達成しているとのことですが、一般就労へ移行した14人がどのようなところに就労されているのか教えてください。</p>
小笠原主幹	<p>一般就労移行者数の14人というのは、アルバイトやパートといった雇</p>

発 言 者	発 言 内 容
今井会長	<p>用形態で就労した方も含めた数字となっています。職業の内容ですが、物流や建物の清掃、スーパーマーケットなどに就労された方がいます。他にも様々な分野で幅広く就労されましたが、詳細な資料がないため、把握している部分のみの回答となります。</p> <p>石川委員の勤める作業所では作業の工夫を行い、多くの利用者が実際に仕事ができるようになっていきます。利用者を就労へと繋げることに生かしたいということでの質問だと思いますので、ぜひ、わかる範囲で結構ですので情報提供をお願いいたします。</p>
黒古委員	<p>他にはございませんでしょうか。黒古委員お願いします。</p> <p>施策6はたらくを応援するの市役所における障害者雇用の推進の中で、市職員採用試験において知的障害者の受験が可能となったことは、大変素晴らしい今後も継続してほしいものですが、実際に知的障害の方が受験されたのか、また採用されたかを教えてください。また、この拡大について、市民へどのように周知したのかも併せて教えてください。</p>
平岡副主幹	<p>市職員採用試験について令和元年度までは身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳所持の方が受験可能とされていました。令和2年度から、療育手帳所持の方も受験可能となり、受験できる対象者の枠が広がりました。令和2年度の市職員採用試験で療育手帳を所持している方の受験した人数は、人事課から情報提供されていないため詳細な回答ができません。次回の審議会で回答したいと思いますがいかがでしょうか。また、市民への周知につきましては、人事課において受験要綱を市ホームページ等での掲載や、広域での説明会等で説明を行っております。</p>
今井会長	<p>採用試験を受けた方の手帳別の内訳や採用者数について、ぜひ可能な限り調べていただき報告をお願いします。採用された方で非常勤・常勤もわかると参考になります。これは私の意見ですが併せてお願いします。</p>
黒古委員	<p>施策14障害者の権利を守るの中に記載されている、障害のある方に対する差別の問題です。市では差別解消支援地域協議会が自立支援協議会と兼務となっていると思います。この差別解消支援地域協議会の中で差別事例についての協議がないとの報告がありますが、障害者計画策定にあたって実施したアンケートでは、学校や、職場、地域からといったような様々な場所で障害者の差別を受け、辛い思いをされているという回答があったと思われます。アンケートでは障害者差別について回答あるにもかかわらず、協議会では協議にあげられないというのは大きな課題の一つではないで</p>

発 言 者	発 言 内 容
小笠原主幹	<p>しょうか。実際に差別や辛い思いをされている実態があるにも関わらず、表に上がってこない状況を今後考えていかなければいけないと感じます。このことについて事務局の考えを教えてくださいと思います。</p> <p>アンケートでは差別等を感じたり受けたりしたことがあるという回答がある中で、障害者差別の相談窓口となる障害者支援課には、そのような報告事例等が寄せられていないというのが現状となります。先日開催しました自立支援協議会では障害者差別について議題に上がり、もっと積極的な取り組みをしていく必要があると捉え、今後も協議を続けていくものとしております。やはり現状としては障害者支援課が障害者差別の窓口となっていることの周知が十分ではないため、そういった周知について積極的に取り組んでいかなければいけないと考えています、また、障害者の理解や障害者差別といったところについても、幅広く広報等していく必要があると考えております。</p>
今井会長 粕谷委員	<p>他に質問はありませんか。粕谷委員お願いします。</p> <p>障害者差別や差別解消法の件について自立支援協議会で議題に上がったと事務局よりありましたが、自立支援協議会では差別解消法の周知を目的として、市が主催している生涯学習フェスティバルに参加をしています。生涯学習フェスティバルでは、自立支援協議会の周知とともに、差別解消法の周知も併せて実施しています。障害者差別はいけないといったことや、どのようなことが障害者差別にあてはまり、それに対して合理的な配慮をしていかなきゃいけないという部分を紹介するというものになります。去年は、生涯学習フェスティバル自体がコロナで中止となりましたが、その前年はボッチャの体験などを通じて障害者差別に関しての周知を行いました。</p>
今井会長	<p>他に質問はありませんでしょうか。無いようですので次の議題に入りたいと思います。令和2年度障害者就労施設等からの調達実績についての説明を事務局からお願いします。</p>
平岡副主幹 今井会長	<p>(令和2年度障害者就労施設等からの調達実績資料3により説明)</p> <p>ただ今の説明につきまして質問や意見がありましたらお願いします。</p> <p>田邊委員お願いします。</p>
田邊委員	<p>役務は清掃管理が2件、その他のサービス・役務が1件、合計3件、調達実績額は令和2年度の目標数値とほぼ同額の金額ですが、物品はコロナによって、利用者の減少や、イベントの減少に伴い実績額は減少している</p>

発 言 者	発 言 内 容
平岡副主幹	と見受けられます。令和3年度も半年が過ぎ、コロナの状況が改善されていないことから、物品については昨年度と同様に伸びる可能性は少ないと考えられますが、役務については今後件数が増えていくということが考えられるかどうかを教えてください。
今井会長	役務につきまして、例年清掃業務や資源ごみの分別等で毎年同じ委託先をお願いしているのが現状であり、今後も増加については見込んでいません。ただし、増加があるとすれば、市民花壇等の年間管理業務といったものと考えられます。
平岡副主幹	調達実績の目標値が、令和3年度よりも減少しているのは、コロナの影響を考慮してということでしょうか。
今井会長	そのとおりです。
平岡副主幹	他に質問はありませんでしょうか。無いようですので次に議題(2)その他の部分について事務局から説明をお願いします。
今井会長	(長野県社会福祉協議会についての新聞記事について資料4により説明) 長野県社会福祉協議会が開発したシステムについて掲載されている新聞記事となります。今井会長より本審議会にて委員の皆さまへ資料の提供依頼がありましたので提供したものととなります。こちらについては、今井会長より説明をお願いします。
委員一同	長野県社会福祉協議会が災害弱者の所在地をオンラインで把握するという画期的なシステムを開発したという記事になります。施策2で説明がありました個別計画の策定があまり進んでいないのが現状で、このようなシステムを市が独自で作るのは難しいですが、ぜひ入間市社会福祉協議会を通じて県の社会福祉協議会等へ働きかけてもらいたいと感じます。災害弱者への緊急時などの対応に役立つと思い資料提供させていただきました。もし委員の皆さまからの異論がないようでしたら、事務局から入間市社会福祉協議会を通じて県の社会福祉協議会へ働きかけていただきたいと思います。皆さんいかがでしょうか。
今井会長	異議なし 意義がないということですので、事務局から入間市社会福祉協議会へ災害弱者のオンライン把握も選択肢の一つとして働きかけていただくことをお願いしたいと思います。 このことについて質問がありましたらお願いします。

発 言 者	発 言 内 容
	<p>質問が無いようですので、以上で議題を終了いたします。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>2022年12月8日</p> <p>議 長 の 署 名 今井 葉雄</p> <p>議長が指名した者の署名 石川 具見</p>	